

仕事と介護の両立 プログラム概要

➤ 介護は、誰もが直面しうる課題！ 貴社の対策は万全ですか？

日本の高齢化と合計特殊出生率の低下は生産人口の急激な減少となり、日本の国際的な競争力低下の懸念につながっています。特に、企業における社員と組織の高齢化は、要介護者の増加をもたらし、介護休職や介護退職のリスクを働き盛りのミドルに突き付けています。

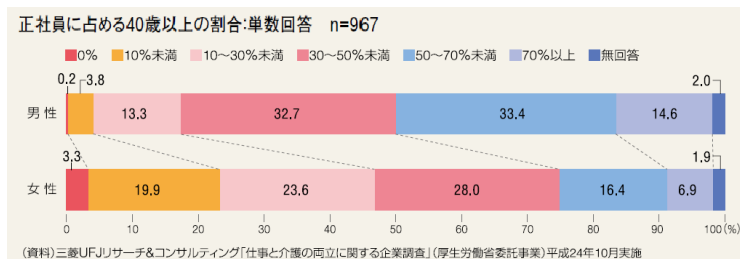
組織の要となる管理職や、経験を積んだ熟練従業員など、企業の中核となる人材が、仕事と介護の両立に悩み離職してしまうことは、企業にとって大きな損失です。離職する従業員や心身ともにストレスを抱える従業員が増える前に、仕事と介護の両立支援の取組みをはじめることが必要です。

まずはチェック！

☑ 従業員の年齢構成は？

平成26年版高齢社会白書では、65歳以上の高齢者は総人口の25.1%を占め過去最高に達しました。企業においても、従業員101名以上を対象にした調査において、男性正社員に占める40歳以上の割合が50%以上である企業が、48%と半数を占めています。

→ 誰もが「要介護者」を抱える可能性あり！

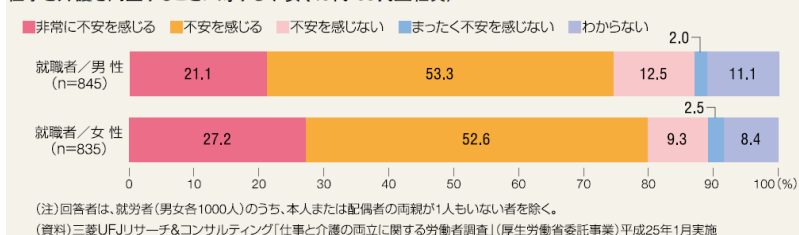


☑ 従業員が突然の介護に直面した際、貴重な人材を失うリスクは？

共働き比率も高まる中、親の介護に直面する可能性の高い40・50代の従業員は男女ともに、将来親の介護や手助けをする状況になった場合の「仕事と介護の両立」に、不安を抱えています。

→ 貴社の「介護離職・休業者」の潜在層は？

仕事と介護を両立することに対する不安(40代・50代正社員)



☑ 貴重な戦力を失わないために...貴社の対策は？

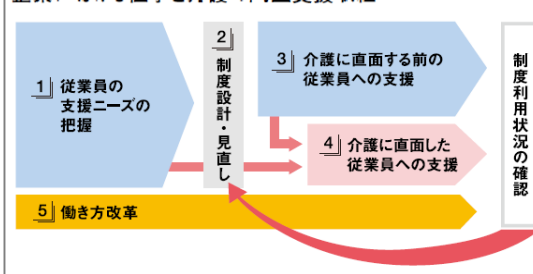
厚生労働省では、「介護離職を予防するための職場環境モデル～仕事と介護を両立できる働き方の方策～」の中で、企業における取組課題を打ち出しています。

介護休業制度の設定・見直しは重要ですが、法定を上回る制度を充実させることが必要なのではありません。企業の課題は「従業員が行う介護を支援すること」ではなく「従業員が仕事と介護を両立できるように支援すること」です。

そのために従業員にも、「介護休業は(自身が介護をするための期間ではなく)仕事と介護を両立させるための体制を整えるための準備期間である」という制度の主旨を十分に理解してもらい、もしもの時に慌てないために、事前の情報提供の機会を設けることが重要です。

→ 貴社の取り組みは？

企業における仕事と介護の両立支援取組



➤ 仕事と介護の両立セミナーのご紹介



「介護」は、誰もが直面する可能性を持ち、予測がつかないものです。突然、介護が訪れた際の不安から仕事との両立を困難に感じ、離職のリスクが高まる大きな要因となります。

「仕事と介護の両立セミナー」は、高齢化社会において、貴重な組織の戦力を失わないための効果的な施策の一つと言えます。

【基本編】仕事と介護の両立に向けたセミナー

…介護に直面する前の従業員への支援

【実践編】介護でキャリアをあきらめないために

…介護に直面している従業員への支援

「仕事と介護の両立に向けたキャリアを考える」(基本編)

～ 介護に対する自身の関わり方の検討 ～

育児と異なり、介護はいつ始まり、いつ終わるかわからず、予測ができないものです。そのため、突然介護が訪れると不安になり、離職を考えるということも発生しています。

介護離職を防ぐには、まずは介護の現実を理解し、介護に備えた準備をしておくことが大切です。

本セミナーでは、介護と仕事を両立し、働き続けるために必要な知識、心構えを学ぶとともに、仕事と介護と生活の三立に向けたキャリアデザインの考え方を習得していただきます。

<所要時間> 2時間～4時間

<プログラム>

<はじめに> 仕事と介護の両立に向けたキャリアを考える

I. 「介護」に対する状況と選択肢を整理する

1. 被介護者の今と今後の状況と意向
2. 介護に対する自身の価値観
3. 介護のあり方と選択肢
4. 自身の介護への関わり方の選択肢は？

II. 自身の「職場・仕事・生活」に関する状況と方向性を整理する

1. 職場・仕事について
 - 1) 社内制度
 - 2) 職場の状況
 - 3) 自身の仕事の状況
 - 4) 社内の相談者
2. 生活について
 - 1) 被介護者以外の家族の現状と今後
 - 2) 収入と必要経費
3. 自身の働き方の選択肢は？

III. 「仕事と介護と生活」の「三立」に向けたキャリアデザイン

1. 「三立」に際しての考え方; ワーク・ライフ・マネジメントとは
2. 長期的視野で考えるキャリアプラン・ライフプラン
 - 1) 「仕事と介護と生活」を並行して考える
 - 2) 「仕事と介護と生活」を「三立」するための具体策

<おわりに> 「仕事と介護と生活」を「三立」し、充実した人生を

「仕事と介護の両立に向けたキャリアを考える」（実践編）

～ 介護でキャリアをあきらめないために ～

育児と異なり、介護は被介護者の状況によって対処内容や大変さがまちまちで、介護者の悩みも多岐にわたります。

本セミナーでは、介護保険制度や介護と仕事を両立するための基本的知識がある方々に対して、具体的な事例を通して、介護生活において将来どんなことが起こり得るか、その場合の対処方法を複数知ることによって、介護上の困難を事前に想定し、準備し、対処できるようにするためのポイントを理解いただきます。また、仕事を円滑に進めるために、困難な状況に遭遇した場合、上司に対する相談の仕方、働きかけ方をあわせて身に付けます。介護、職場の両面を考えることにより、どのような状況が起こっても、仕事と介護を両立できるようにすることを目指します。

<所要時間> 2時間～3時間

<プログラム>

◇オリエンテーション

1. 介護と仕事を両立していくために

<講義・ディスカッション>

- (1) 介護生活の実態
- (2) 職場の上司への相談、情報共有
- (3) 介護時間をどう作るか？
- (4) 様々なサービスを知る

2. 介護と仕事の両立事例

<講義・ディスカッション>

- (1) 遠距離介護を成功させるための秘訣
- (2) 両立可能なケアプラン例
- (3) 介護経験者からの情報提供

3. 両立を断念したくなる状況をどう乗り越えるか

<講義・ディスカッション>

- (1) 深夜の介護がある場合
- (2) 重度の認知症の家族がいる場合
- (3) 要介護者に全面的な身体介護の必要がある場合

◇まとめ